



第19号

発行日 平成25年4月吉日(2013)
 発行者 新潟産業大学校友会
 責任者 小栗俊郎
 編集 新潟産業大学校友会事務局
 新潟県柏崎市軽井川4730番地
 TEL0257-24-8444 (直通)
 FAX0257-24-8444



青濤会(校友会)は産大世代への移行を目指す。

新潟産業大学校友会(青濤会)

会長 小栗俊郎 (短11回)

○やるべき事の二つは連携の再構築です。

顔の見える校友会。大学当局、事務方、現学生とのつながりを工夫模索します。各支部との連携・情報交換をさらに進めます。

○やるべき事の二つは産大卒業世代(青年部)の校友会への活動参加を工夫します。

卒業生の六〇%が産大卒業。同期会や支部若年会への積極的な支援を進めます。

小さな少人数でも声を掛け合い、協力体制を援助します。役員としての登用も工夫します。

○やるべき事の三つは開かれた多様な交流を推進します。

新学長は「地域あつての大学、大学あつての地域」を提言しています。

大学が生き残って行くために、オンラインワンを目指すともっています。

青濤会会員のネットワークを活用した地域興しに協力体制を考えて行きたいと考えます。

○やるべき事の四つは、教職希望学生への支援です。

現状を教えてもらい、出来る協力や支援体制を作っていきたいと考えています。

新体制へのご支援とご協力、率直な提案を心よりお願い致します。

■プロフィール

教職四十年。退職後十三年。新潟短期大学玉川大学文学部教育学科・東京学芸大学教育学部センター留学。当時文部省(文科省)から香港日本人学校へ派遣される。大学評議員十年。理事・副理事長二年。現在も小・中・特別支援学校でボランティア。「人生意気・感謝と実行」をモットーにしている。

平成24年11月24日開催の本部定期総会の日をもって三役全員の任期満了により退任致しましたが、新たに会則第五条に基づき次の役員が就任致しました。

本部、顧問・三役・会計監事

顧問	磯部卯之吉 (専1回) 留任
顧問	石塚 延栄 (短3回) 新任
会長	小栗 俊郎 (短11回) 新任
副会長	中村 宏 (短17回) 留任
副会長	内山 和博 (短17回) 新任
副会長	鈴木 茂 (大1回) 留任
事務局長	片桐 健三 (短16回) 留任
会計監事	土田 茂 (短21回) 留任
会計監事	高橋 和規 (大2回) 新任

学校法人柏専学院 理事、評議員

(校友会会員で理事、評議員の方)

理事	野本 宏之 (短15回)
理事	樋口 榮治 (短18回)
評議員	野本 宏之 (短15回)
評議員	樋口 榮治 (短18回)
評議員	金井 英雄 (短16回)
評議員	片桐 健三 (短16回)

新任の挨拶

「地域おこし大学」
「人づくり大学」を目指して

新潟産業大学学長

北 原 保 雄

この度、縁あって新潟産業大学の学長に就任することになりました。私は柏崎市軽井川の出身です。長い間本学には強い関心を持つてきました。平成19年(2007)1月からは柏専学院の経営改革推進室顧問、そして平成20年12月からは理事・評議員を務め、経営協議に参加してきました。

この間、いろいろな経営努力をしてきましたが、状況はあまり好転していません。これは本学だけでなく、全国の大学に共通する問題ですが、受験者、入学者が減少する一方です。理事として外から協力しているのには限界があります。まことに今更ですが、老骨に鞭打って、直接経営に参加してみようと思いついた次第です。

具体的なことは、これから学内の皆さんといろいろな話し合って決

めていきたいと思っていますが、たくさんの方の大学の中で生き残っていくためには、特色のある大学でなければなりません。私は、本学が、「地域おこし大学」「人づくり大学」という特色を鮮明に掲げて発展することを目指していきたいと考えています。

「地域おこし」は、「地元おこし」と「それぞれの地方おこし」の2つを意味します。柏崎という自然・産業・文化に恵まれた環境の中で、実践を活かしながら「地域おこし」の経済学を教育研究します。もちろん、グローバルな視点も忘れてはなりません。そういうアドミッシヨンポリシーのもとに、地元以外からも、外国からも、多数の学生を集めたいと思っています。そして、東京のマンモス大学にはできない丁寧な教育をする。それが

「人づくり大学」です。

私のこれまでの経験と、国内外に持っている人脈などを活かして、教育内容、修学支援などを整備し、学生数を増やして、大学を立て直すことができたらと思っています。

います。

新潟産業大学校友会の皆様のお力添えが是非とも必要です。何卒よろしくご支援のほどお願いいたします。



退任のご挨拶

新潟産業大学前学長

広 川 俊 男

4月より、北原保雄先生を新学長にお迎えしました。先生は筑波大学学長や日本学生支援機構の理事長などを歴任された方で、国語学・言語学の権威です。

また、すでに平成19年より学校法人柏専学院の経営改革推進室顧問、理事、評議員等を務められていました。豊富な経験と人脈をお持ちの北原先生にリードしていただくことで、新潟産業大学が大きく飛躍できるよう、私も全力でお手伝いさせていただきます。

さて、私自身の学長職在任の6年間は、中越沖地震、リーマンショック後の世界的金融危機、さらに、日本中を大混乱に陥れた東日本大震災、大雪と猛暑、原子力発電所の停止、日中、日韓の領土をめぐる対立の深まり……と、次々と大きな災害や深刻な事態が加わり続けた時期でした。

そんな中で、我が新潟産業大学は4年前に、「コンパクト・ユニバーシティ」への転換を宣言し、それまでの複数学部を経済学部ひとつにまとめ、経済経営学科と文化経済学科の1学部2学科に再編しました。そして、建学の精神をしっかりとふまえたミッション(本学の使命)を『地域社会や企業を主体的に支える人材の育成』と定めました。この3月には、その最初の卒業生を世に送り出しました。

振り返れば、大変ではあったけれども65年の歴史を刻んできた新潟産業大学に相応しいうれしい出来事も

たくさんありました。

毎年、立派に成長した卒業生を送り出し、希望に燃えた新入生を迎えました。

学生達は、指導の教職員と共に多くの成果を生み出してくれました。例えば、柏崎の中心商店街に「まちかど研究室」が立ちあがり、柏崎を動画サイトYouTubeで世界に発信する「柏崎最高プロジェクト」などの取り組みが始まりました。また、「十日町ビジネスコンテスト」でのグランプリ獲得や決勝進出、「起業家フォーラムin新潟」での審査員奨励賞受賞や「大学は美味しいフェア」への参加もありました。

高柳の棚田や近隣地域でのゼミ活動、地域おこしや福祉ボランティア活動も広がりを見せました。

部活動では、水球、卓球、ライフセービングの各部が全国大会で活躍したほか、昨年は、空手部が北信越大会個人組手で1、2位を独占し全国大会に進出しました。「小さいがしっかり頑張る大学」をアピールしてくれています。

こうした学生達の活躍をいつも誇らしく見つめておりました。

そしてこの間、校友会の皆様には、温かく力強いご支援を賜り続けました。心より御礼申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

募金要項

■募金の金額 一口 5,000円(複数口をいただければ幸いです。)

■募金の払込方法 同封の「青色の振込用紙」にご記入のうえ郵便局からお振込下さい。

■寄付金控除について 所得税の寄付金控除の措置を受けることができます。

■寄付者名簿の公表について ホームページ、学報等で寄付者の御芳名を公表することに同意される方は、振込用紙通信欄にその旨チェックをお願い致します。

※ご不明の点は、新潟産業大学総務課まで。
総務課 TEL0257-24-6655

教育研究支援募金のお願い

新潟産業大学では、教育研究活動全般の充実・発展を図るため、広くご寄付をお願いしております。

寄付金は、地域高等教育の府として社会的責任を担う本学にとって、学費や補助金に次ぐ、第三の収入といえるものです。いただきましたご厚志は、「地域社会や企業を主体的に支える人材の育成」という本学の教育理念の達成のために活用させていただきます。

何卒、皆様の格別のご支援をお願い申し上げます。



マーケティングと まちづくりの知識を使って 地域を元気に

研究室紹介

新潟産業大学経済学部 助教 渡邊孝一郎

私の専門はもともマーケティングです。大学生の時にマーケティングの授業を受け、その面白さに惹かれて大学院に進み、そして現在マーケティング関係の授業を担当しています。ただ、マーケティングだけではなく研究していないのかというところ、そうではありません。実際にはマーケティングの研究よりも商業によるまちづくりの研究を中心にやってきました。マーケティングとまちづくりは、一見関係ないようにも思われるかもしれませんが、しかし地域を元気にしていく際にはマーケティングや経営学の知識がとても役に立ってきます。そこで渡邊ゼミではマーケティング

や経営学の知識を使って地域を元気にする様々な取り組みをしています。それは学生にはただ学問を学ぶだけではなく、そこから得られた知識を使って実際に行動してほしいと考えているからです。そのため学生にはそれぞれ自分が取り組みたいテーマに合わせて幾つかのチームに分かれてもらい、協力してそのテーマに取り組めます。昨年度であれば、十日町ビジネスコンテスト、佐渡夢プロジェクト、NB-1グランプリなどのビジネスコンテストに参加し、十日町ビジネスコンテストでは見事本選会に出場し、自分たちが考えた地域活性化プランを堂々とプ

レゼンしました。さらには柏崎市の委託事業を利用して『まちかど研究室』という商店街にある空き店舗を使つての地域活性化にも取り組んでいます。ここではお隣の新潟工科大学も一緒になって、柏崎中心市街地に元気をとりもどすプロジェクトを企画・実行しています。どのチームも試行錯誤をしながら現実と理論を往復しながら専門知識を深めています。

学生時代は、あまりお金はありませんが時間はたくさんあります。その時間を使つてお金では買えない体験をたくさんしてもらえればと思っています。



平成24年11月 本部総会模様



石塚前会長



小栗新会長

新潟産業大学
金子事務局長新潟産業大学
広川学長

三叉路 松井正道ライブ (大8回卒)



懇親パーティー



棚田オーナー 樋口さん家族 (大10回卒)

新潟産業大学の就職状況 (就職資料より)

2012年度 就職行事 拝見



●学内合同企業説明会【平成25年2月】



●資格取得等奨励金授与式【平成25年1月】



●就職活動集中対策講座 電話のマナー【平成24年12月】



●簿記講座【平成24年11月】



●マナー・面接講座【平成24年12月】



●メーカー・面接講座【平成24年11月】



●介護ヘルパー2級講座【平成24年8月】

就職内定状況

1月末日現在の内定状況は下表のとおりで、全体の内定率75.3%です。

	男子	女子	計
内定率(%)	73.3%	84.6%	75.3%
内定者数	44	11	55
上場企業内定率(%)	12.2%	0.0%	10.0%
上場企業内定者数	5	0	5
就職希望率(%)	76.9%	72.2%	76.0%
就職希望者数	60	13	73
卒業予定者数	78	18	96

注1: 外国人留学生を除く

注2: 内定率(%) = 内定者数 ÷ 就職希望者数

注3: 就職希望率(%) = 就職希望者数 ÷ 卒業予定者数

注4: 上場企業内定率(%) = 上場企業内定者数 ÷ (全内定者数 - (公務員合格者数 + 個人経営家業内定者数))

北信越大会個人戦で優勝・準優勝

空手道活動から学んだこと

新潟産業大学経済学部4年空手道部24代主将

梅川 達矢

空手道部はここ何年も少人数で活動をしてきました。他大学の空手道部は10人、20人、多い所になると30人もいるところがあり、他所はやはり活気があります。

新潟産業大学は常に5人以下で活動をしてきました。本学空手道部は部員が少ないなりにそれぞれ個人個人が工夫をして練習を重ねてきた結



果、1年生の時は北信越大会団体戦で優勝、3年生の時は新人戦優勝、準優勝、そして4年生では北信越大会個人戦で優勝、準優勝を果たしました。

私たちは1年生の時から部員が欲しい、多く入部して欲しいと考えることができましたが、残念ながら年間5人を超えませんでした。しかしながら少人数のおかげで、コーチから1人1人集中して教えてもらうことができ、その結果、個々の個性や能力がぐんと伸びました。そういった面で考えるとやはり「大人数」ではできないことができる「少人数」で活動できてよかったと思っています。



今後は、空手道部が何十年も継続していくのであれば、もちろん、大勢の部員で活気がでるのが一番うれしいですが、少人数の部員でなければ出来ない良さもたくさんありますので、これから入部される後輩たちには分かってもらいたいと思っています。

新潟産業大学校友会講演会

～卒業生と市民のためのリフレッシュ講座～

校友会では大学と連携し、市民のみなさまと卒業生のためのリフレッシュ講座、講演会を毎年開催していますが今年度も地元柏崎で開催致しますので、是非、会員の方は市民のみなさんをお誘いの上、大勢参加して頂きたくご案内申し上げます。

- 日時 平成25年5月25日(土)
14:00～15:30(13:30開場) 入場無料
- 会場 柏崎市産業文化会館
柏崎市駅前2-2-45 (TEL: 0257-24-7633)
- 演題 「最近の北朝鮮情勢と拉致問題」
- 講師 蓮池 薫 氏 (新潟産業大学経済学部講師)

■講師紹介 中央大学法学部卒業
新潟産業大学 経済学部専任講師

■著書 2008年10月 蓮池流韓国語入門
2009年3月 私が見た『韓国歴史ドラマ』の舞台と今
2009年6月 半島へ、ふたたび
2009年10月 新瀬ドキュメント賞受賞
2012年10月 拉致と決断

短 12 期 同期会に参加して

町田美沙子 (短12回)

期の卒業生は四十名、亡くなられた方と住所不明の方六名を除くと三十四名、いつもの半数の方が参加されます。各自の近況報告を始め語り尽さない話を一次会、二次会で話し合いました。翌日はまた皆であちこち見学昼食後福島で解散となりました。次回は私共の上越組が幹事です。どこを会場に何を見学案内しようか今から考えているところです。

私共の同期会は十月三十日、月岡温泉で開催されました。以前は柏崎で開催されておりましたが、十年ほど前からは上越、柏崎、中越、下越の四地区の持ち回り、二年に一回の開催という事で開かれております。今年八年ぶり二度目の下越組が幹事でした。当日は十三名が新発田駅前に集まり午後から新発田の名所を見学して四時に月岡温泉の会場に入りました。直接会場に来た三名を加え十六名での同期会となりました。十二



前列左端

運営年会費の納入御礼とお願い

校友会員の大勢の皆様から、運営年会費を納入して頂きありがとうございました。みなさんの暖かい気持ちに支えられていることに改めて感謝し、厚く御礼申し上げます。

ご承知のように、運営年会費は校友会報の発行費用や各支部の運営補助金など活動資金の支援費として使用されております。また、会報も内容を更に充実させ、皆様から愛される校友会報にしたいものと頑張っております。

非常に厳しい状況の中ではありますが、是非とも、このような趣旨をご理解頂きご協力よろしくお願い申し上げます。

同窓生とのつながりから 生まれるビジネスの可能性

中島 徹 (大8回)



ホテルオークラ新潟で開催した1999年度卒業生同窓会

私は大学を卒業してすぐに、(株)ジョイフルタウンという雑誌編集部に

入社し、主に雑誌に広告の掲載を依頼する営業を行なっています。私が入社した14年前は、まだまだインターネットが普及しておらず、タウン情報は「雑誌で入手するもの」という方が多かったかと思っています。現在はインターネットやフリーペーパーなど、無料で簡単に情報を入手できる時代になりました。同じメディアといっても特性がまったく違う媒体の出現により、以前に比べると広告営業は決して楽ではなくなりました。でも、その時代の変化は自分たちの足元を見つめ直すきっかけでもありました。自分たちの強みとは、「編集力」「企画力」、そして県内の企業やお店との「コネ

クション」。それらをいかして最近では行政、企業、大学のパンフレットの制作のほか、地域おこしの一環として婚活イベントを実施するなど、雑誌の枠を越えてさまざまなビジネス案件にも取り組んでいます。

昨年の11月24日に、新潟産業大学1999年度卒業生の同窓会を開催し、広川前学長もお忙しい中ご参加いただき、宴は大変盛り上がりしました。宴の最中には名刺交換をするなど、異業種交流会のようなひと幕もありましたが、こういった異業種とのつながりこそ私たちはビジネスシーンに活かしていかなければいけません。会社という枠組みの中だけで



月刊にいがた

Pas magazine

すと新しい発想は生まれにくいものですが、異業種の仕事内容や取り組みにはたくさんヒントが潜んでいます。ぜひ、会社や業種の枠を超え、同級生並びに、OB・OGの方々とパートナーシップを組み、相乗効果が生まれるようなビジネス案件をたくさんカタチにできればと思っています。

支 部 だ よ り

柏刈支部の事務局長に就任して



柏刈支部事務局長
海南 李江
(大3回)

大学事務局教務課の海南李江（うなみりえ）（大3回）と申します。平成24年4月から、校友会・柏刈支部の事務局長を務めさせていただいております。昨年は、6月の柏刈支部定期総会に始まり、10月には、校友会支部長・事務局長会議、11月24日（日）には3年に1度の「新潟産業大学校友会定期総会」が柏崎市で開催されました。総会には大勢の卒業生からご出席いただきましたが、大卒者の出席者が増え、私自身も懐かしいひと時を過ごさせていただきました。役員になつてもうじき1年が経ちます。この間、何もかも先輩の方々にお世話になるばかりでしたが、皆さまの温かい優しさに触れながら楽しく務めさせていただいております。今後は支部間の連携を図

りながら更に母校をバックアップしたいと考えておりますので、今後とも、ご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

飯豊支部定期総会報告



飯豊支部長
吉田 富二雄
(短11回)

平成二十四年度の支部定期総会が去る七月七日に地元、豊谷殿にて開催された。

来賓として本部より、石塚会長、片桐事務局長を迎えて会員七名の参加を得た。

今回は、参加しそうな会員をビツクアップして、参加効率を上げる様に重点を絞って文書で訴えたが、出席状況は、以上の通りであった。しかし、一つの希望も見えた。今

回若い大卒の参加があつたことです。某支部長のご助力も有り、今までの老友クラブみたいな会合が、雰囲気全然違いました。今回を契機

とが出来た。

今回で佐渡支部発足から四回目の開催であるが、参加者の顔ぶれが固定化してきていることを危惧している。ただ、大卒の面々が副支部長、事務局長に就任しているので、この先、明るい展望が開けるのではないかと期待している。

三年ぶりの支部総会



長岡支部長
樋口 栄治
(短18回)

残暑厳しい九月八日、長岡支部総会が三年ぶりに開催されました。ご来賓の広川学長様、蓮池薫先生はじめ、石塚校友会会長並びに県内支部長さんからのご臨席のもとに、四十五名の参加を頂きました。

その席で、僭越ながら不肖私が次期支部長のご指名をいただきました。

歴代支部長はじめ金井英雄支部長さんは、行動派の素晴らしい先輩で、長岡支部の基礎を構築いただきました。激動しながら新しい社会が生まれ



て来ることを「希望」としながら運営して参りたいと思っております。

長岡支部は、新潟支部に次いで多くの同窓がおられますことは多種多様な皆さんがお揃いであることの「証」でもあります。

同窓の絆をヨコ型のネットワークにして、先輩後輩が「交流」しやすい環境を整えて行くことが使命と自覚しているこの頃でございます。

妙高支部定期総会



妙高支部長
畑山 文夫
(短6回)

平成二十四年十月二十日（土）、第四回妙高支部総会を妙高市の矢代ふれあいの里友楽里館で開催。大学から広川学長様、校友会本部より石塚会長、片桐事務局長、そして松苗上越支部長代行、小林長野副支部長、



佐渡支部定期総会開催



佐渡支部長
濱田 毅
(短18回)

九月九日（日）、旅館「浦島」を会場に支部定期総会を開催した。今回も本部より来賓として、石塚会長様・片桐事務局長様にお出いただいた。また、渡邊県央支部長、河野新潟支部長、内山柏刈支部長の面々が駆けつけてくださった。それ



広瀬県央支部事務局長と多数の来賓のご参会を頂き、総勢十三名にて開催する事ができました。

活動計画の一つである各種事業に積極的に参加し、本部と支部の発展に努める、という目標は今後も継続する。議題の活動報告、収支決算報告、今後の活動計画、役員改選等、原案通り承認されました。

役員改選では幹事に清水珠代さん（短26回）、松岡洋子さん（短33回）の二名の女性が加わりました。そして、若い古川高央さん（大9回）も新任されました。今後の活躍期待します。

総会議事終了後、広川学長から講話「長く生きるための頭と身体の柔軟体操」というお話を大変、面白く拝聴致しました。



新潟産業大学に学ぶ学生達の活躍

柏崎市体育協会は、優秀な競技成績をあげ柏崎地域の体育、スポーツの振興に功績のあった団体や個人に対し、毎年表彰を行っています。

今年も本学から団体3組と8人の学生が受賞し、2月2日（土）に「優秀体育人表彰式」が柏崎市産業文化会館で行われました。

<スポーツ栄誉賞>

◎水球 棚村英行（3年）小出未来（2年）

<優秀競技者賞>

◎ライフセービング 安澤勇次（4年）大野翔平（3年）内山純太（3年）

<競技者賞>

◎空手道 梅川達矢（4年）小林 匠（4年）
◎卓 球 周 陳忱 卓球男子団体、女子団体
◎水 球 水球部男子団体

平成24年 公認部大会成績一覧表

クラブ名	大 会 名	部門・種目および大会出場者名（学年）		成 績
空 手 道 部	第38回北信越学生空手道選手権大会（5月）	個人男子組手	梅川達矢（経4）	優勝
			小林匠（経4）	準優勝
卓 球 部	第60回春季北信越学生卓球選手権大会兼第82回全日本大学総合卓球選手権大会北信越地区予選（5月）	男子団体	周陳忱（経4）、鄭然（経4）、清水大輔（経3）、山本雄大（経1）、松島卓宏（経1）、大久保翔平（経1）、小野雅貴（経1）、白川昌樹（経1）	6位
		女子団体	焦阳（経2）、源通真優（経1）、藤原さくら（経1）、五十嵐裕菜（経1）	3位
		男子シングルス	周陳忱（経4）	3位
	平成24年度夏季北信越学生卓球選手権大会兼第79回全日本大学総合卓球選手権大会北信越地区予選（8月）	男子シングルス	周陳忱（経4）	3位
	第60回秋季北信越学生卓球新人選手権大会（11月）	男子団体	周陳忱（経4）、鄭然（経4）、清水大輔（経3）、山本雄大（経1）、松島卓宏（経1）、大久保翔平（経1）、小野雅貴（経1）、白川昌樹（経1）	3位
		男子シングルス	周陳忱（経4）	ベスト8
水 泳 部・男 子 （水球部門）	2012年度関東学生水球リーグ戦（5月）	金城徹大（経4）、田中翔史朗（経4）、斉藤渉（経4）、森雄平（経3）、鈴木雄也（経3）、清水涼太（経3）、柴原吉輝（経3）、米田航（経3）、木村栄記（経2）、二野下浩之（経2）、仁添敬介（経2）、林和希（経2）、山田翔太（経2）、船橋佑（経2）、宮内悠（経2）、吉田圭佑（経1）、栗林直弥（経1）、志田康平（経1）、祝裕太（経1）、村上健太郎（経1）、大迫佑貴（経1）、鳥越孝宜（経1）、渡邊岳人（経1）		2部優勝
	第21回中部学生水球選手権大会兼日本学生選手権大会予選【水球競技】（7月）	金城徹大（経4）、田中翔史朗（経4）、斉藤渉（経4）、鈴木雄也（経3）、清水涼太（経3）、米田航（経3）、木村栄記（経2）、二野下浩之（経2）、林和希（経2）、山田翔太（経2）、宮内悠（経2）、志田康平（経1）、鳥越孝宜（経1）、渡邊岳人（経1）		優勝
水 泳 部・女 子 （水球部門）	2012年度関西女子水球リーグ戦（8月） ※アクアクラブと合同チーム編成	吉田雅美（経3）、前原みどり（経2）、小出未来（経2）、池田桜子（経2）、能村美優（経2）、村井愛美（経2）、堀井真有花（経1）		2位
ライフセービング部	第27回全日本学生ライフセービング選手権大会（9月）	サーフレース	三井田誠（経3）	ベスト16
		CPRアセスメント	安澤勇次（経4）、大野翔平（経3）	A判定
	第38回全日本ライフセービング選手権大会（10月）	ビーチリレー	安澤勇次（経4）、内山純太（経3）、他2名	5位
		CPRアセスメント	安澤勇次（経4）、内山純太（経3）	A判定

お申し込み・お問い合わせは
(株)第一旅行サービス

〒945-0051 柏崎市東本町1-1-2

TEL 0257-21-1551代 FAX 0257-21-0087

携帯 090-3343-2189 E-mail ftsjapan@kismet.or.jp

担当 代表取締役 田中茂行(短17回)

母校と市内観光ツアー
参加者募集

柏崎駅集合
13:00

11/2
(土)

新潟産業大学大学祭（紅葉祭）見学

13:30 - 16:00

ザ・ホテルシーポート

16:30 全客室から日本海が一望・新鮮な海の幸料理

TEL: 0257-23-6294

11/3
(日)

ホテル発
9:00

青海川さけのふるさと公園

9:10（さけの遡上と生態学習）10:00

恋人岬・日本海鮮魚センター

10:15（ショッピング）11:00

松雲山荘の紅葉・木村茶道美術館

11:15（美術品にてお手前を頂きます）12:15

市内各店にて鯛茶漬け

12:30 - 13:30

どんぶり選手権
見事
グランプリ獲得！

原酒造酒彩館

13:45 - 14:45

柏崎駅解散

15:00

※個人でもグループでも参加OKです。10名以上催行いたします。

※参加者10名以上の場合、校友会より補助金として1名につき1,000円の補助があります。

※申込メ切日 9月30日(月) 参加費¥22,000円(夕食・朝食・昼食各1回付)飲み物代は含みません
(補助金を差し引いてあります)

事務局だより

昨年は国内外でさまざまな問題が発生し、暗いニュースが多かったのですが、明るいニュースとしてはロンドンオリンピックで史上最多のメダルを獲得したことや、京都大学の山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞を受賞したことなどは日本に元氣と勇気を与えてくれました。

その一方で東北大震災、福島の子力発電所の事故から2年が経ちましたが、いまだ、多くの被災者が故郷に帰れず大変な思いをされています。今年の干支は巳年ですので、干支にあやかっただけでは復興と再生が行われることを祈るばかりです。

又、学生達の部活動での活躍はすばらしいものがあります。なかでも5人ほどの部員で活動してきた空手道部は北信越大会個人戦で優勝、準優勝を果たしました。このことは、コンパクトな頑張る大学として、少人数でなければできない活動や良さがたくさんあることを示してくれたのではないのでしょうか。

校友会も、昨年は北海道教育大学教育学部氷見山幸夫教授による講演会を開催し、大学関係者や多くの市民の方から聴講を頂きました。今年

も大学と連携し、講演会を実施致しますので、多くの

の方の参加をお待ちしています。

ところで、校友会では、ホームページを開設していますので、新入会員のみなさんは、自分の所属支部をご確認下さい。所属支部の行事には是非参加して頂き、交流の輪を広げてもらうことを願っております。



平成24年度の動き

◆本部定期役員会 (5月柏崎市)

決算、予算、事業報告、事業計画を審議承認

卒業生と市民のための講演会 (講師・氷見山幸夫氏)

◆支部長、事務局長会議 (10月長岡)

◆新年度事業計画、及び予算会議 (25年3月柏崎)

◆本部定期総会 (11月柏崎)

◆各支部総会の開催は次のとおり
支部総会 ※柏刈 (6月柏崎)

※飯豊 (7月新発田)

※長岡 (9月長岡)

※佐渡 (9月佐渡)

※妙高 (10月妙高)

◆職域、同期会の開催は次のとおり

※専1期会 (10月赤倉)
※短12期会 (10月月岡)
※短16期会 (7月長岡)
※短17期会 (11月柏崎)
※短18期会 (11月柏崎)
※大8期会 (11月新潟)

平成25年度予定される動き

◆本部定期役員会 (5月柏崎)
◆青年部長会議 (7月柏崎)
◆支部長、事務局長会議 (10月長岡)
◆支部総会の開催予定

※柏刈 (6月)
※東海 (7月)
※北陸 (8月)
※県央 (9月)
※魚沼 (9月)

編集後記

昨年12月上旬の大雪にはびつくり致しました。年末年始にかけて大雪かと心配しましたが、その後はおだやかな天候が続き、正月も雪が少なく新年がスタートしました。

昨年は、3年毎に開催される「本部定期総会」が地元柏崎市のメトロポリタン松島で、11月24日に大勢の校友会会員が参加し楽しいひとときを過ごし、定期総会も盛会

※新潟 (10月)
※上越 (10月)
※関東 (10月)
※長野 (12月)
◆職域、同期会の開催予定
※専1期会 (10月)

この他予定されている会合がありましたら本部事務局までご連絡下さい。

◆本部事務局開局日：月、火、木、金の各曜日 10時～15時まで
〒945-1139
柏崎市軽井川4730

新潟産業大学校友会事務局

TEL 0257-24-8444 (直通)

FAX 0257-24-8444

E-mail: seirou_h@visnsu.ac.jp

裏のうちに終了致しました。

役員改選により、本年度より本部役員を担当することになりました。短大17回卒の内山和博であります。

新役員として精一杯頑張りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。各支部との連携強化を図り、校友会発展のためご協力、ご支援をお願い致します。

校友会会員の皆様と各支部の発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。

内山和博 (短17回)